

小百合キンダーホームの自己評価

令和5年2月18日

A…よくできた B…できた C…一部改善が必要 D…改善しなければならない

1. 保育理念・保育観

1	園の保育理念・保育方針・全体的な計画を全職員に周知している	B
2	園の保育方針を基にした、全体的な計画が立てられている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	A
4	全体的な計画を基に行事や園外保育を計画し、実践・分析・評価している	B

毎年の総括会議で、法人や園の理念・方針を読み上げ確認をしているが、会議を欠席した職員や途中採用の職員には丁寧な説明をしていないので、今後その都度時間を作り周知するようにしていきたい。

2. 保育計画・保育実践と振り返り

1	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	A
2	子どもの発達を理解し、その先の見通しを持った保育を工夫している	A
3	配慮が必要な場合は、職員が共通認識を持ちその子に応じた対応をしている	B
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	C

計画的に保育が進められるよう、年度当初に保育計画を立案し保育を行っている。保育の振り返りについては、ノンコンタクトタイムに時間を設けたが継続出来ていなかったため来年度は継続出来るよう時間を工夫していく。

3. 環境・安全

1	一人一人が安心して過ごせる環境を工夫している	A
2	園の保育方針を基にした、環境構成が整えられている	B
3	職員一人一人が健康・安全に対する認識を共有している	B
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	A

職員会議で感染症対策についてやヒヤリハット、事故報告等を通して情報の共有はしているつもりだが、保育士一人一人が自分に置き換えて防止に務める事に対しての認識が薄かったように感じる。その都度、自分なら何が出来たかこれからどう改善していくかを丁寧に話し合うようにしていきたい。

4. 食育

1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士等が連携し、食育を積極的にすすめている	A
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A

コロナ禍でも中止ではなく、どうしたら食育活動が出来るかを試行錯誤した。以前のような食育活動は難しいが、感染症対策をした上で少しずつ子ども達が喜ぶ活動が出来たのではないかなと思う。

5. 職員構成・役割分担・研修

1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心がけている	A
2	園内・園外研修の年間計画を立て、実行している	A
3	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	A

今年は常勤・非常勤を含め多くの園内研修が出来たように思う。同じ時間に全保育士が集まる事は難しいが数日にわけて、少人数のグループで時間を区切り行う事で意見が言いやすかったり、内容の濃い学びの時間を作る事が出来た。

6. 保護者支援・子育て支援

1	保護者に対し、園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	A
2	保護者の状況等、個人情報への漏えいに気を付けている	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感するよう、心掛けている	C
4	地域で子育てをしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	C

ICT導入をし、日々の子どもの様子を毎日アプリで送るようになった。保護者からは、「毎日楽しみしている」や「保育園での様子が見られて嬉しい」等好評を得ている。保育士も、日々の保育が以前よりも意識をした保育になってきているように思う。

7. 小学校や地域社会との連携

1	定期的に地域の保育園や幼稚園・小学校との交流を行っている	C
2	町内会や地域の方との交流を積極的に行っている	C
3	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れる体制が整えられている	B

外部との交流は、中学生の職場体験や小学生の地域探検等を受け入れる事で保育士の仕事を体験したり知ってもらう機会になったと思う。来年度は地域交流が出来ればと思う。